



在沖米海兵隊基地キャンプバトラー/ 米海兵隊普天間航空基地

2025 年度の環境マネジメントシステムに関わる目的及び目標

キャンプ・バトラー及び普天間航空基地は、環境マネジメントシステム（EMS）に基づき 2025 年度の EMS の目的及び目標を下記のように設定します。これらの目的及び目標は、海兵隊太平洋基地/キャンプ・バトラー基地司令官環境方針で示された使命に対する危機管理意識を反映し、また合致、補完するものです。そして、現段階での経済的・技術的制約の中で測定可能で達成しうるものであります。本目的及び目標の達成に際し、皆さまの全面的な支援をお願いします。

目的	目標
1. フォース・デザイン	<ul style="list-style-type: none">A. フォースデザインプロジェクト・基地計画アクション・計画変更に対し、大統領令 12114 (“海外版国家環境政策法”) に基づく環境レビューを行うB. 将校及び課長クラスが報告会議すべてに参加するC. フォースデザインによる環境活動のすべての変更について言及する
2. 飲料水（水道水）システム是正措置	<ul style="list-style-type: none">A. 水道水システム脆弱評価・緊急時対応プランおよび代替飲料水プランの行動項目を実施するB. 一方向フラッシング - フォスターで実施し、他のすべてのキャンプで計画を立てるC. キャンプ・バトラーおよびキャンプ・富士における衛生調査の契約を実施する (FY25CYD)
3. 沖縄本島内流出防止及び対応 (24 年度からの継続)	<ul style="list-style-type: none">A. 全ての部隊の基本合意書(MOA) の更新 (米海兵隊、米海軍、米陸軍、米空軍、米国防兵站局、自衛隊)B. 大規模流出対応に関する沖縄に特化した契約
4. AFFF (水成膜泡消火剤) /PFAS (24 年度からの継続)	<ul style="list-style-type: none">A. 4 つの排水保管タンクの不備を修正B. 海兵隊基地コマンド (MCICOM) の泡消火剤 (AFFF) 段階的削減ガイダンスの実施C. 普天間航空基地の火災訓練施設にある高圧コンクリートを取り換えるプロジェクトに予算が与えられるようにする

目的	目標
5. 燃料貯蔵タンク	<ul style="list-style-type: none"> A. 基地内住宅区域にある燃料タンクの管理における空軍とのコミュニケーション及び情報交換を改善する B. タンクの気密試験の契約を発注する (FY25CYD)
6. ユネスコ世界遺産地と北部訓練場を支援するための自然資源管理 (24年度からの繰越)	<ul style="list-style-type: none"> A. 気候変動評価の加筆および環境省との調整を経て、統合的自然資源及び文化財管理計画の改定を完了する B. 自然資源管理に関する協力体制を強化するために環境省と会議を2回持つ
7. ECE (環境法令遵守評価) 指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> A. 22年度 - 1 (2025年9月30日契約終了) 24年度へ持ち越し B. 23年度 - 3 (2024/12/31、2024/9/30、2024/10/1 終了) 24年度へ持ち越し C. 24年度 - 40 (改善待ちの事項)